

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/09/18

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	31.81	0.13
JPY/THB	0.2164	0.0001
USD/JPY	146.99	0.51
EUR/THB	37.58	-0.02
EUR/USD	1.1813	-0.0054
USD/CNH	7.102	-0.003
SGD/THB	24.89	0.07
AUD/THB	21.16	-0.01
USD/INR	87.81	-0.25
USD Index	96.87	0.24

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.176	-0.072
10Y (THB)	1.414	-0.077
5Y (USD)	3.654	0.069
10Y (USD)	4.087	0.059

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,688.0	-7.5
WTI (Oil)	64.05	-0.47
Copper	9,996.0	-130.5

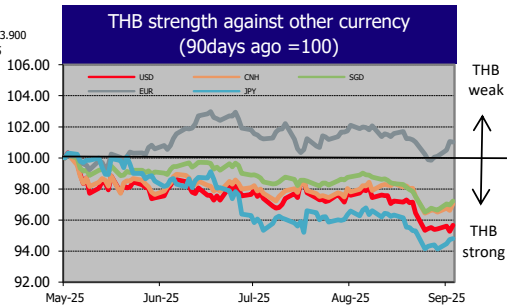
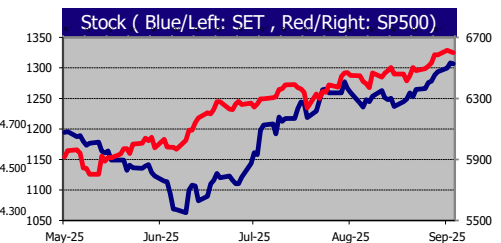
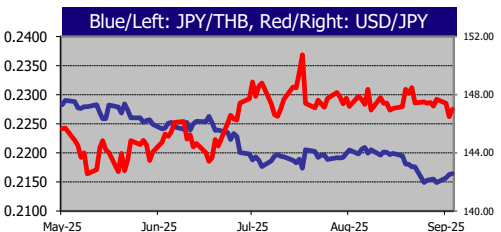
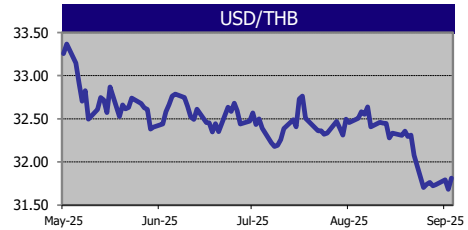
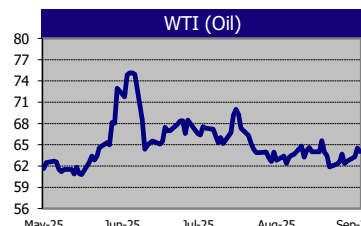
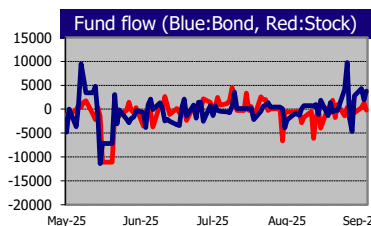
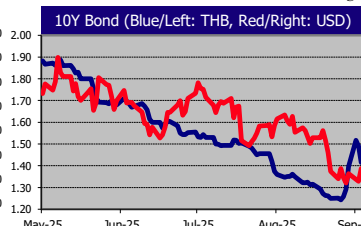
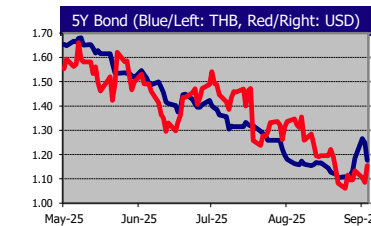
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,306.69	-1.50
NIKKEI (JP)	44,790.38	-111.89
DOW (US)	46,018.32	260.42
S&P500 (US)	6,600.35	-6.41
SHCOMP (CN)	3,876.34	14.48
DAX(GER)	23,359.18	29.94

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(200)	-1447.5
Bond net flow	3,809	1903.2

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは31.70パーツ台前半で取引を開始すると、NY時間のFOMC結果発表を控え、欧州時間にかけて31.70パーツ台前半の水準で方向感なく推移。NY時間も引き続き様子見ムードの中、同水準での推移が続いた。午後に入りFRBが0.25%の利下げを発表し、同時に発表された声明文で米労働市場の減速を懸念した文言が示された事に加え、ドットチャートでFOMCメンバーの予想中央値が年内残り2回の利下げ可能性を示唆していることが確認されると、市場は売りで反応し、31.60パーツに迫る水準まで下落。しかし、続いて行われたパウエル議長の見会での「今回はリスク管理のための利下げ」、「0.5%の利下げに対する広範な支持はなかった」等の発言を受け年内の大幅利下げ観測が後退すると、米金利の反転上昇に伴い31.80パーツ台前半まで反発し、そのままの水準でクローズ。

●ドル円その他

アジア時間のドル円は146円台前半でオープンし、序盤ドル売りの展開もその後146円台後半まで反発。その後はNY時間のFOMC結果発表を控えて欧州時間にかけて146円台前半の水準で方向感に乏しく推移した。NY時間でも引き続き様子見ムードの中、146円台前半の狭いレンジでの推移が継続。午後に入りFRBが利下げを発表し、同時に発表された声明文とドットチャートの内容を受け、直後は売りで反応し145円台前半まで下落。しかし、続いて行われたパウエル議長の会見での発言により年内の大幅利下げ観測が後退すると、米金利の反転上昇に伴い147円前半まで反発。その後146円台後半でクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

昨日の米FOMCでは、大方の予想通り、25bpの利下げが決定された。利下げ自体は完全に市場に織り込まれていたため、今回のFOMCでは、四半期経済予測の修正度合い、ドットチャートの変化、反対票の数、の3点に注目が集まった。結果をドルへの強弱という観点でざっくり捉えると、経済予測は強気（ドル買い方向）、ドットチャートは年内の利下げ回数が前回よりも1回増えた点で弱気、反対票は1票のみとなり、複数の反対票（大幅な利下げ）が予想されていたことからすると強気、というのが総評か。強弱混在の評価にマーケットの反応にも迷いが見られ、ドル売り後にそれ以上の買戻しの動きを見せてアジア時間に戻ってきている。かかる中、本日のタイパーツは一旦昨日よりもパーツ安水準で始まりそうだが、パーツ高を警戒するタイ政府からすると、まだまだ予断を許さない展開は続くと考ええる。タイでは、アヌティン新政権が船出したばかりだが、4か月以内に総選挙が行われる前提からすれば、その選挙で結果を出すうえでも、短期的な景気対策と、パーツ高対応に焦点を当てていく可能性は高い。タイの経済団体がパーツの適切な水準を34~35パーツと考えているとの話もあるなか、タイ当局は金取引への課税やドル建ての金取引の導入など、パーツ高を抑える政策をすでに検討しているようだが、今後も追加対策が出てくるかに注視したい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.